

資料①

伝統文化芸術 振興事業の 進捗状況



目次

1

令和5年度事業の進捗状況

2

審議会委員からのご意見をもとに
実施した取り組み

3

令和6年度事業計画

令和5年度 事業の進捗状況





事業数と予算額

(単位:千円)



古代から近代までの豊富な文化財

R5事業数

80

R4事業数

75

R5予算額

1,066,208

R4決算額

1,172,812



地域に根づく伝統文化

19

19

78,389

70,920



市民生活に根づく茶の湯文化

26

24

252,792

234,836



小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化

28

26

235,776

206,999



市民とともに育む文化芸術活動

29

32

354,450

289,432



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

47

42

3,468,812

2,175,934



宍道湖、堀川、中海等の松江的景観

40

36

354,342

177,428

計

269

254

5,810,769

4,328,361

再掲重複除く

180

171

4,753,999

3,302,591

七つの柱ごとの 主な取り組み



01



古代から近代までの豊富な文化財

文化財デジタルアーカイブ構築事業(予算:2,000千円)

目的

■松江市が誇る豊富な文化財の情報にアクセスできる機会を広げることで、市内外の方々に**松江の文化財への関心や理解を深めていただく。**

実施内容

■「文化財保存活用地域計画」に掲げる文化財情報のデジタル化推進の取り組みとして、松江市の**各文化財施設が保有する文化財情報をデジタル化することで一元的な情報発信が可能**となるなど、利用しやすい環境を整える。

■今年度は第1段として**鹿島歴史民俗資料館の収蔵品を対象に、データベース化を進めている。**また、スマホ等で収蔵品などを手軽に閲覧できる「**ポケット学芸員**」についても**作成中。**



デジタルアーカイブのイメージ図



地域に根づく伝統文化

全国椿サミット開催事業(予算:8,845千円)

目的

■全国椿サミットを松江で開催することで、市内外の方々に市花「椿」の魅力を再確認いただくとともに、椿サミットを契機とした、事業者とのコラボレーションを展開するなど、椿を核とした地域振興を図る。

実施内容

■全国椿サミットは、椿の魅力を再確認し、椿による地域振興を図るための事業。椿サミットを通じて松江と椿のつながり、魅力に加え、新たな事業展開を発信する。

○3/9・10の2日間で実施 来場者:延べ4,000人

○2/18に興雲閣にてプレイベントを実施

○特設HP、SNS(Instagram、Facebook)等による情報発信

○椿商品等、関連の深い企業等のブース出展や連携事業(椿山荘、ファイントウデイなど)



全国椿サミット松江大会の様子



市民生活に根づく茶の湯文化

茶の湯文化振興事業(予算:3,251千円)

目的

■「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」、「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る。

実施内容

■茶の湯の日イベント(4月・10月)、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちゃのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。

■4月と10月にイオン松江店で茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売を開催し、4月は708人、10月は735人が参加した。

■4月24日にかけて、学校給食で抹茶特別メニュー(抹茶プリンなど)を提供した。



茶の湯のまち 松江

松江藩ちゃのゆの学校

初心者・未経験者大歓迎!

茶道各流派の先生が出向き、「松江藩 ちゃのゆの学校」を開催します!
「抹茶、和菓子のいただき方」
「お点前のいろは」を体験しませんか?

場 所: 歴史館、スティックビル、公民館、ご自宅など…市内ならどこへでも伺います!

参加費: 1人500円(抹茶・和菓子代)
※参加人数は5人~20人程度です
※茶道具は無料で貸し出します
※会場代は参加者負担です

時 間: 1時間~1時間半

松江市文化スポーツ部文化振興課
TEL: 0852-55-5517 Eメール: bunka-kakari@city.matsue.lg.jp

茶の湯文化に親しむ様子



小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化

「怪談のふるさと松江」事業(予算:2,200千円)

目的

■「怪談」という松江独自のテーマによる観光素材を利用して、小泉八雲の世界を効果的に情報発信することで、**新たな観光客層からの観光誘客を推進**する。

実施内容

- 「松江怪喜宴」を4年ぶりに開催した。
 - 【松江怪談談義】
 - ・小泉凡氏と怪異蒐集家の木原浩勝氏による怪談にまつわる対談。
 - 開催日:10月27日(金) **入場者数:47人**
 - 【酒林堂八雲2023】
 - ・声優による怪談朗読を聞き、日本酒と肴を楽しむ、茶風林氏企画・演出のイベント。
 - 開催日:10月28日(土)・29日(日) **入場者数:484人**



イベントのチラシ



市民とともに育む文化芸術活動

プラバホール音楽振興事業(予算:40,268千円)

目的

■プラバホール休館中、市内他会場においても各種音楽イベントを実施することにより、継続的な芸術文化振興を図るとともに、プラバホールのリニューアルオープンに向けた機運を醸成する。

実施内容

■プラバホール休館期間中にまちなかに飛び出して各種音楽イベントを行う。(コンクール・コンサートの開催、音楽に関する情報の発信、演奏動画配信、講座の開催など)

■「0歳から入れるコンサート」や市役所新庁舎2階のテラスで開催する「まちなかコンサート(6/25)」 「パイプオルガンのオーバーホール見学会(11/25)」を実施。

松江ウインドアンサンブル Chor Polaris 大瀬ジュニア吹奏楽団ブルースターズ

休館中のプラバホールを飛び出して、この春新しくなった松江市役所でコンサートを開催！松江市内を中心に活動する音楽団体が出演します！

2023年 6月25日(日) 14:00 開演
会場：松江市役所新庁舎 2階テラス

入場無料
松江友の会による
焼き菓子などの販売もあり

プラバホールのリニューアルに向けてパイプオルガンのことを知ろう

パイプオルガン大規模修理をのぞいてみよう！

昭和61年の開館以来、初のオーバーホール。なかなか見ることの出来ない作業の様子を見学できます。「楽器の仕組みや成り立ち」「なぜオーバーホールが必要？」などをオルガン職人の方にお話しいただきます。

オーバーホール

株式会社ヤマハ パイプオルガン技術部
バックラート オルガンビルダー
プラバホール 常務オルガニスト 木山 雅夫

2023年 11月25日(土) 入場無料！
① 10:30 ~ 受付開始 10:00
② 14:00 ~ 受付開始 13:30

(会場) 松江市総合文化センター 大会議室及び大ホール

関係イベントのチラシ



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

総合文化センターリニューアルオープン事業(予算:2,915千円)

目的

■リニューアルオープンする総合文化センターが、文化芸術活動や学びの拠点として末永く市民に親しまれ、利用されるよう、多くの市民が来館し、生まれ変わった施設を体感する機会を創出する。

実施内容

■今年度は、令和6年度に通年で実施する**リニューアルオープン事業の事前準備**、事業実施にあたっての**広報活動**等を行っている。

■**松江市立中央図書館・プラバホール(貸館の一部)**が**10月1日(日)**に**リニューアルオープン**。

2月末時点で103,080人が来館。(令和3年同時期比: +6,013人、令和元年同時期比: ▲32,692人)



工事後のロビー等



宍道湖、堀川、中海等の松江的景観

城下町・水の都魅力発信事業(予算:47,000千円)

目的

■観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE”～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、ブランド力向上・観光振興を図る。

実施内容

- 「城下町」や「水の都」にスポットを当て、松江の魅力を最大限に活用した下記の事業を展開する。
- 「国宝松江城・お城まつり」を実施
- 夕日のブランディングや「武者のまち発信事業」などを実施中
- 3/20 に国宝松江城二之丸下の段の特設ステージにて「浜崎貴司GACHIスペシャルin国宝松江城2024」を実施予定。



お城まつりイメージ



人材育成【七つの柱に共通して取り組む事業】

松江の文化力体験推進事業

事業名：松江の文化力次世代育成・継承事業(予算：5,763千円)

目的

■「松江の文化力」を再認識し、未来を担う子どもたちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現するために実施する。

実施内容

■子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。

■10月8日から3月23日にかけて、4つの体験イベントと8つの体験教室を開催。今年度は新たに市街地以外(佐陀神能、加賀の潜戸)のエリアでの体験を提供。

参加者数：延べ399人



体験の様子(一部)



情報発信【七つの柱に共通して取り組む事業】

SNS等による情報発信推進事業(予算:1,452千円)

目的

■松江で行われている文化・スポーツ関係イベントを約1分間のニュース動画にまとめて情報発信することで、市内外の方々に分かりやすく情報を届け、関心を高めていただく。

実施内容

■多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、コンテンツを約1分間のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。

■ニュースを作成したイベント
・松江市民美術展・松江城大茶会・藝行列・小泉八雲記念館企画展 など計10本



完成したニュース動画



情報発信【七つの柱に共通して取り組む事業】

SNS等による情報発信推進事業(予算:1,452千円)

ニュース動画



情報発信【七つの柱に共通して取り組む事業】

SNS等による情報発信推進事業(予算:1,452千円)

CM動画



資金【七つの柱に共通して取り組む事業】

ふるさと納税(目標寄附額:300,000千円)

目的

■松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。

実施内容

■前年度の1.5倍にあたる300,000千円を目標金額として、ポータルサイトの追加や返礼品の充実など、取り組みを強化している。

■「松江の文化力を生かしたまちづくり」コースについては15,000千円の寄附額を目標にしている。

【2月末実績】

寄附額全体:362,616千円

文化力コース:18,863千円

NFTアート



吉田くん
(進化前)



吉田くん
(進化後)

体験



水郷祭特別席



一日城主体験

特産品



和菓子
お茶



宍道湖産
大和しじみ

返礼品の具体例

審議会委員からの ご意見をもとに 実施した取り組み



審議会委員からのご意見をもとに実施した取り組み

意見

松江市のHPで動画が探しにくい



市民の方が動画等の情報を探しやすくするため、HPの校正をわかりやすくしました。加えて、文字情報もご覧いただきやすくしました。

伝統文化・文化芸術

いいね! シェアする ポスト

- 文化芸術
- 松江的景観
- 小泉八雲
- 伝統文化・文化芸術に関する各種支援制度
- 松江市文化協会
- 伝統文化
- 茶の湯文化
- 伝統文化・文化芸術に関する条例・計画等
- 伝統文化・文化芸術に関する動画集**



伝統文化・文化芸術に関する動画集

いいね! シェアする ポスト 更新日: 2024年02月16日

本市の伝統文化や文化芸術に関する動画をご覧いただけます。
各動画の画像リンクからYouTubeが開きます。

伝統文化

佐陀神能

- 佐陀神能—ロングVer—
- 佐陀神能—ショートVer—
- 佐陀神能—英語字幕—
- 第三回神座—ロングVer—

キーワードで探す
Google 検索

伝統文化・文化芸術

- 文化芸術
- 伝統文化
- 松江的景観
- 茶の湯文化
- 小泉八雲
- 伝統文化・文化芸術に関する条例・計画等
- 伝統文化・文化芸術に関する各種支援制度
- 伝統文化・文化芸術に関する動画集
- 松江市文化協会

審議会委員からのご意見をもとに実施した取り組み

意見

企業も伝統文化芸術を応援・発信してほしい

→ 全国椿サミット松江大会への企業協賛や、文化芸術活動の拠点施設である「総合文化センター」でネーミングライツが導入されるなど、企業が文化を応援する機運が高まっています。



17社から協賛をいただき、パンフレットや特設HPにて記載・周知し、開催しました。

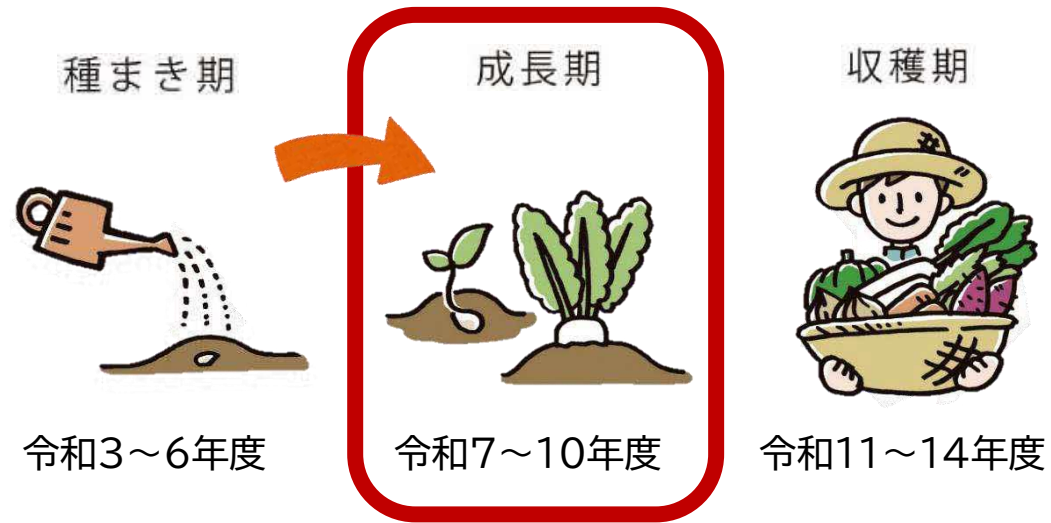


調印式の様子

令和6年度 事業計画



令和6年度の位置づけ



第1期実施計画の最終年であり、最後の種まき期

【具体的な事例】

文化芸術活動の拠点施設である、「さんびる文化センタープラバホール」がリニューアルオープン








小泉八雲「怪談」出版120年を記念し八雲の作品などを題材としたイベントの開催支援事業を展開

松江を代表する伝統芸能が一堂に会する「松江伝統芸能祭」を、2年ぶりに開催

▶ 令和6年度も「文化力を生かしたまちづくり」の取り組みを加速させて行きます！

事業数と予算額(案)

(単位:千円)

	R6事業数	R5事業数	R6予算額(案)	R5予算額
 古代から近代までの豊富な文化財	76	80	1,487,600	1,066,208
 地域に根づく伝統文化	18	19	59,158	78,389
 市民生活に根づく茶の湯文化	24	26	241,709	252,792
 小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化	28	28	249,750	235,776
 市民とともに育む文化芸術活動	27	29	407,546	354,450
 伝統文化芸術活動の拠点となる施設	41	47	1,469,665	3,468,812
 宍道湖、堀川、中海等の松江的景観	36	40	281,944	354,342
計	250	269	4,197,422	5,810,769
再掲重複除く	164	180	2,995,589	4,753,999

七つの柱ごとの 主な取り組み





古代から近代までの豊富な文化財

国宝松江城天守防災施設等整備事業(予算:348,514千円)



国宝松江城天守

目的

■次世代に確実に継承すべき「国宝松江城天守」の火災による滅失毀損を防ぐとともに、登閣者の安全を確保する。

事業内容

■令和元年度に発生したノートルダム大聖堂及び首里城跡の大規模火災を受け、国において策定された「世界遺産・国宝等における防災対策5か年計画」に基づき、国の支援を受けて事業を実施するもの。

■松江城天守の防火設備は、平成2年度までに整備・改修したもので老朽化が進んでいることから、令和2～3年度に基本計画を策定し、令和4～6年度にかけて全面的なハード設備の更新を行っている。令和6年度は最終年。



地域に根づく伝統文化

松江伝統芸能祭

郷土芸能継承発展事業(予算:3,720千円)



伝統芸能祭イメージ

目的

■松江が誇る伝統芸能を「知って」いただき、次代へ「伝えて」いくため、また、定期的な伝統芸能団体の発表の機会を確保することで、伝統芸能の後継者を育成していただくため、2年ぶりに開催する。

事業内容

■松江を代表する伝統芸能団体のステージ発表をはじめ、食文化などの様々な伝統に触れる機会を提供する。また、前回開催時の課題であった、若年層の来場者数を増加させるため、若者の興味を引くような仕掛けづくりを検討する。

○開催日:令和7年3月2日(日)

○会場:さんびる文化センタープラバホール

○出演団体数:6団体



市民生活に根づく茶の湯文化

茶の湯文化振興事業(予算額:3,391千円)



茶の湯に親しむ親子

目的

■「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」、「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る。

事業内容

■茶の湯の日イベント(4月・10月)として、茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売などをイオン松江店で開催する予定のほか、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちゃのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。



小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化

小泉八雲没後120周年記念事業(予算:1,700千円)



小泉八雲『怪談』出版120年

記念事業のロゴマーク

目的

■小泉八雲没後120年及び「怪談」出版120年を迎えるにあたり、その功績を改めて称え、市民の八雲に対する誇りや愛着をより一層深める。

事業内容

■市民・団体などの自主企画による、小泉八雲の作品などを題材にしたイベントなどの開催を支援する。

【新たなイベント】

演劇やアートイベントなどの小泉八雲の顕彰に資する、八雲の作品等を題材にしたイベントの開催を支援する。

【定着イベント】

「小泉八雲朗読のしらべ」や「小泉八雲をよむ」などのイベントを小泉八雲没後と怪談出版の「120年記念」として開催する。



市民とともに育む文化芸術活動

文化芸術関係事業

市民美術展開催事業(予算:2,398千円)、八雲林間劇場管理運営(予算:33,020千円)



文化芸術に触れる市民の様子

目的

■市民が多様な文化芸術に触れることで、市民の美術に対する理解と関心を深めるとともに、多様性が尊重される、活気あふれるまちの実現を図る。

事業内容

■8月の下旬から約1週間に渡り、島根県立美術館を会場に市民の方から公募をした作品を展示する。現在は5部門での募集だったが、作品数の増加や若い世代の出品を増やすため、令和6年度から「デザイン」部門を新設する予定。

■八雲林間劇場にて、海外秀作の公演をはじめ、各種の優れたプログラムを提供することで、市民が松江にしながら優れた文化芸術に触れる機会を確保する。



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

さんびる文化センターリニューアルオープン記念事業 (予算:22,750千円)



大規模改修後の大ホール

目的

■さんびる文化センタープラバホールのリニューアルオープンを記念し、音楽劇やコンサートなど多彩な記念イベントを開催することで、プラバホールの知名度向上と来館者の促進を図る。

事業内容

■令和4年4月1日から閉館し、大規模改修工事を行っていたプラバホールが、2年間の工事を終え、令和6年4月1日にリニューアルオープンをする。これを盛り上げるため、市民参加の音楽劇をはじめ、地元音楽団体によるコンサート、オーバーホールを行ったパイプオルガンのコンサートなど、ホールイベントを年間を通じて開催する。



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

さんびる文化センターリニューアルオープン記念事業



記念コンサートスケジュール(予定)

4月	7日(日)	オープニングセレモニー 市民創作音楽劇「ヘルン・愛の軌跡」
	14日(日)	おめでとうプラバホール ～みんなの音楽の日 2024～
	27日(土)	広島交響楽団 第31回島根定期演奏会
5月	3日(金・祝)	伝統行事・蓼の体験広場
6月	9日(日)	めざましクラシックス in 松江
7月	20日(土)	Summer Holiday Organ Concert 2024 ～オルガンと7つの不思議なトビラ～
8月	3日(土)	亀井聖矢リサイタルツアー 2024
10月	20日(日)	山本恭司×山陰フィルハーモニー管弦楽団コンサート
11月	16日(土)	ミッシェル・ブヴァールオルガンリサイタル



宍道湖、堀川、中海等の松江的景観

水辺の利活用関係事業

新庁舎利活用推進事業(予算:3,325千円)、堀川遊覧船事業((公)松江市観光振興公社事業)



市役所新庁舎テラスからの景観



新庁舎利活用事業(星空ヨガ)



堀川遊覧船
((公)松江市観光振興公社事業)

目的

■ 松江市が持つ資源である「宍道湖、堀川、中海な等」をはじめとする水辺環境について、松江の魅力向上させるため、水辺を利活用した事業を展開する。

事業内容

■ 令和5年8月からスタートした民間事業者等による新庁舎の利活用について、令和6年度も引き続き賑わいの創出を目指すとともに、持続可能な利用について検討を進める。

■ 令和5年度から「Honda社」と連携して、堀川遊覧船に導入した「電動推進機」により、松江城築城時の手漕ぎの船と同じ風情を感じる「非日常の体験」を提供。



人材育成【七つの柱に共通して取り組む事業】

松江の文化力体験推進事業

事業名：松江の文化力次世代育成・継承事業(予算：5,763千円)



伝統文化芸術を体験する親子の様子

目的

■「松江の文化力」を再認識し、未来を担う子どもたちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現するために実施する。

事業内容

■子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を「知る」、「体験する」などの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。



情報発信【七つの柱に共通して取り組む事業】

SNS等による情報発信推進事業(予算:2,452千円)



作成をしたニュース動画

目的

■松江で行われている文化・スポーツ関係イベントを約1分間のニュース動画にまとめて情報発信することで、市内外の方々に分かりやすく情報を届け、関心を高めていただく。

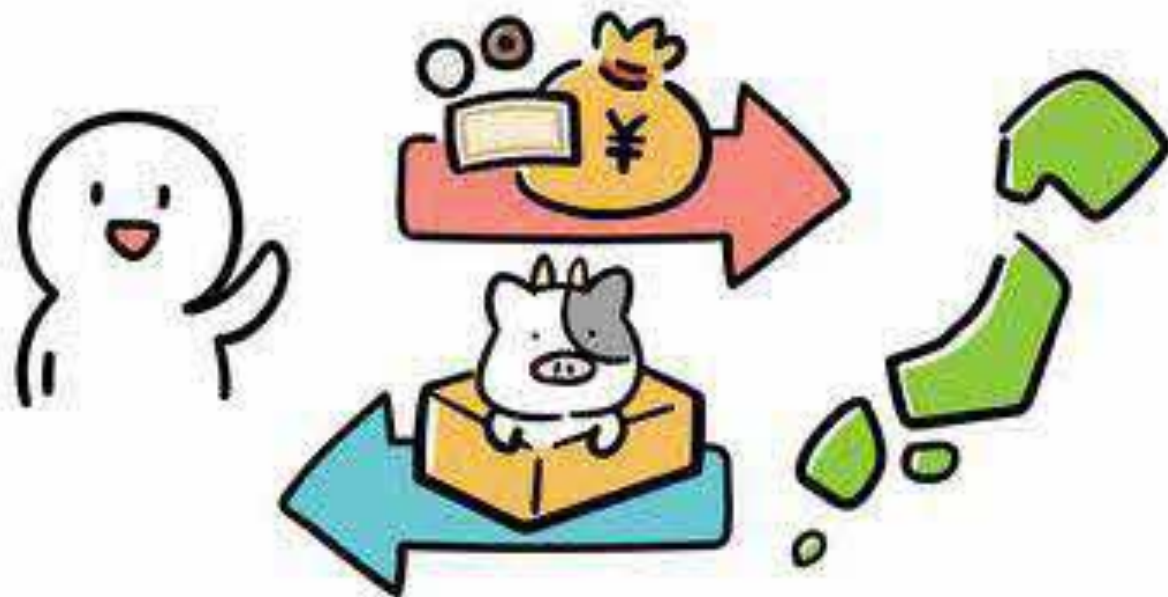
事業内容

- 令和5年度に引き続き多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、コンテンツを約1分間のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。
- 佐陀神能の魅力をより多くの方に感じていただくため、デジタル技術を活用したリアルタイム解説の手法を検討する。



資金【七つの柱に共通して取り組む事業】

ふるさと納税(目標寄附額:500,000千円)



ふるさと納税イメージ

目的

■ 松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。

事業内容

■ 令和5年度の約1.7倍にあたる500,000千円を目標金額として、返礼品の充実やクラウドファンディング型ふるさと納税の活用など、取り組みを強化している。

■ 「松江の文化力を生かしたまちづくり」コースについては全体額の5%にあたる25,000千円の寄付金額を目標にしている。